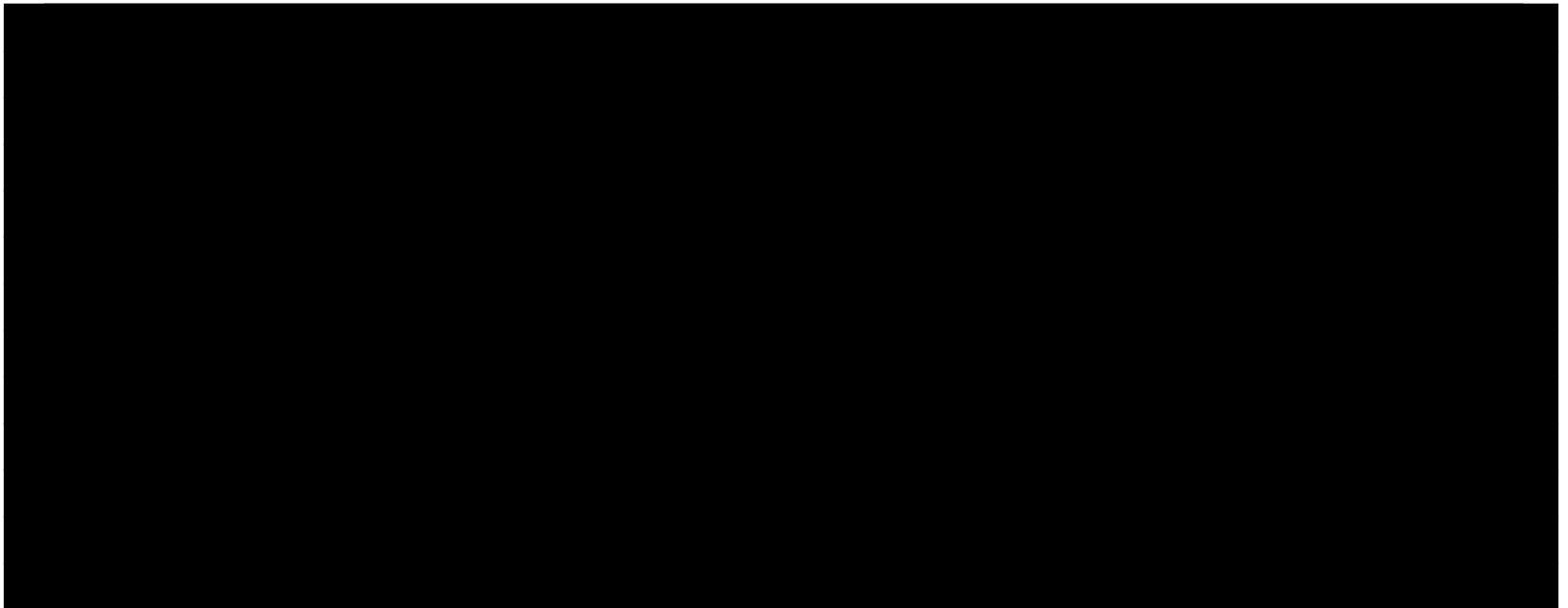


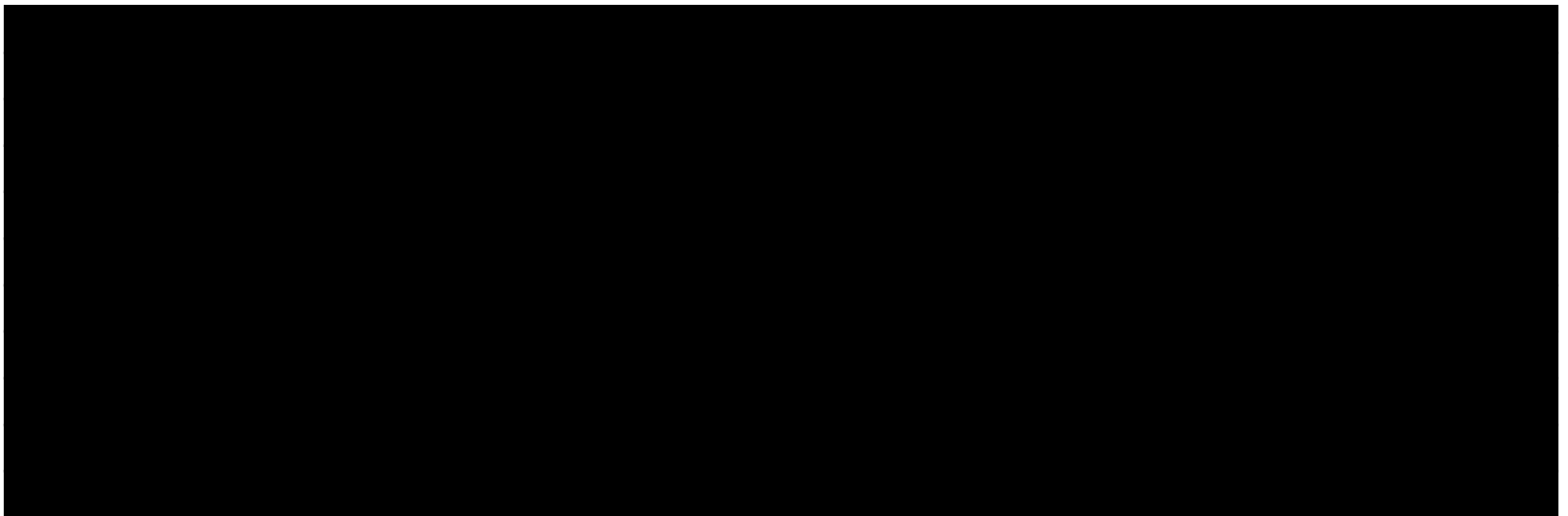
2026年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅰ期）問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.1）

問題Ⅰ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。



（中略）



岩田祐子他（2022）『社会言語学 基本からディスコース分析まで』ひつじ書房p. 3-4

2026年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅰ期）問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.2）

問1 ____アの理由はどれか、以下の①～④から選びなさい。

- ①五つの母音が他の、かさはまら行と同じ五母音であり、その母音と差がないから。
- ②た行の音が3種類あると言われても、日本人には全て同じ音に聞こえるから。
- ③[ta] [te] [to]が同一であるため、全体の体系が[t]で解釈されるから。
- ④特定の母音と結びついたときだけ、子音が変化するから。

問2 ____イ、____ウを、同じ意味になるような別の言葉で書き換えて説明しなさい。

エティックに記述すれば＝

イーミックに考えれば＝

問3 ____エの例として適切なものはどれか、以下の①～④から選びなさい。

- ①表意文字の表記体系を持つ言語は読解の効率が高く、読む速度も速くなる。
- ②非や不や無などの接辞は様々な漢字語彙の前に付いて、否定の意味を表す。
- ③窓を開けて下さいと言うのではなく暑いですねという言い方で目的を達成する。
- ④音素数の少ない言語は学習者にとって発音がしやすく、習得も早い。

問4 （ A ）に入る適切な文はどれか選びなさい。

- ①コミュニケーションのために使われる言語
- ②民族の精神や文化を継承するための言語
- ③文法的な記述や説明をするためのメタ言語
- ④形態素と形態素の関連性から成り立つ言語

問5 ____オについて、具体的な例を挙げて、簡潔に説明を書きなさい。

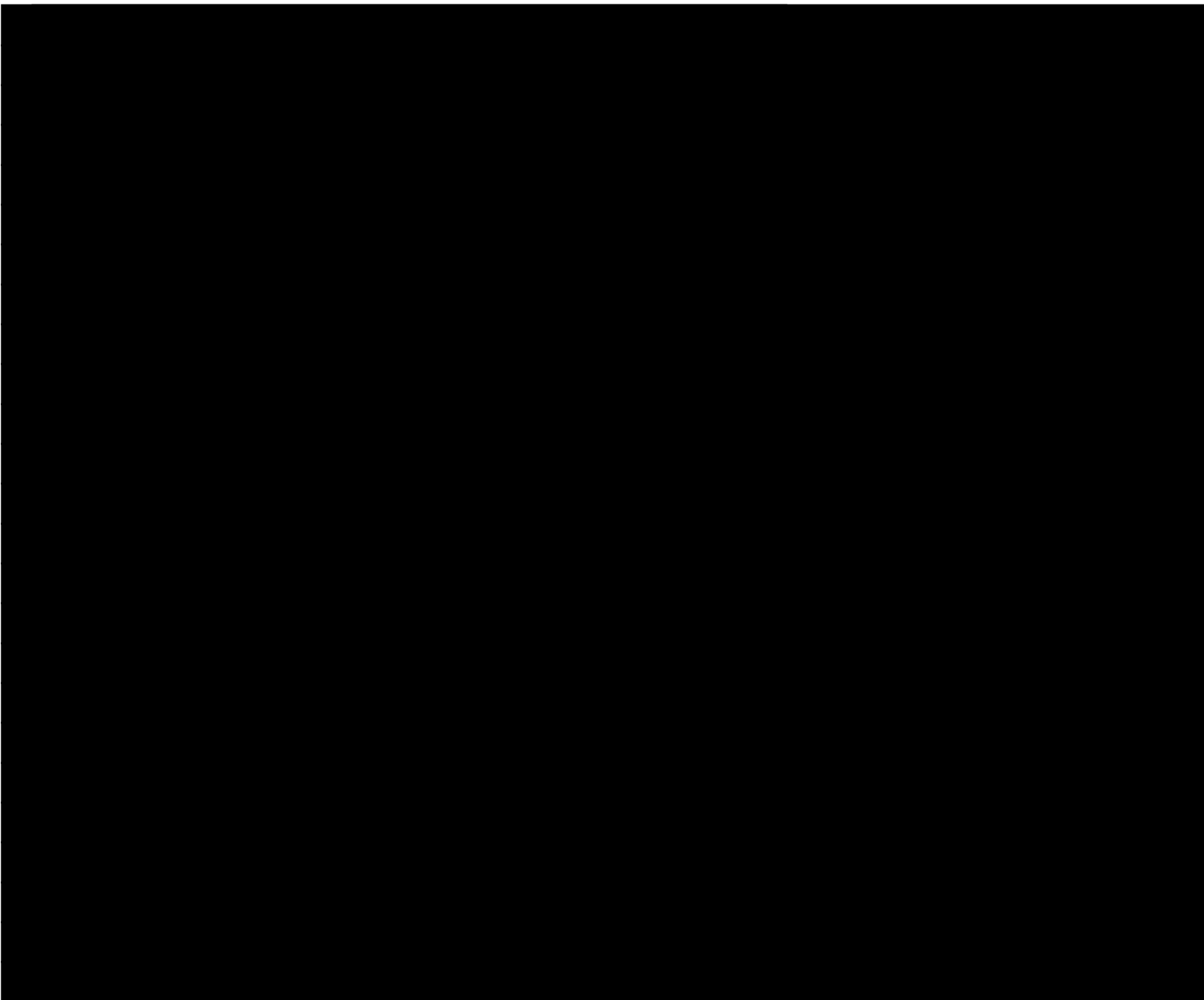
問6 （ B ）にはエティックかイーミックのどちらの用語が入るか、選んで書きなさい。

問7 この文章によって、筆者が何を言おうとしているのか、説明しなさい。

2026年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅰ期）問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.3）

問題Ⅱ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。



養老孟司（2023）『ものがわかるということ』祥伝社 p. 29-31

2026年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅰ期）問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No. 4）

問1 （ A ）には同じ言葉が入ります。最も適切なものはどれか、以下の①～④から選びなさい。

- ① 経験 ② 学習 ③ 知恵 ④ 実践

問2 ____アの四字熟語としての一般的な意味はどれか、以下の①～④から選びなさい。

- ① 学問と武道・スポーツの両方のそれぞれにそれぞれのやり方があること。
② 学問と武道・スポーツの両方に優れていること、両方に力を入れて励むこと。
③ 学問と武道・スポーツの両方に優れた道があること。
④ 学問と武道・スポーツの両方のどちらも大事であり、両方に力を入れて励むこと。

問3 ____アで筆者が主張する「文武両道」の「文」と「武」の関係の説明として最も適切なものを以下の①～④から選びなさい。

- ① 「文」とは、脳への入力で本を読んだり、話を聞いたりすることで、「武」とは脳が入力情報を総合的に出力する筋肉労働である。これらは輻輳的な関係にある。
② 「文」とは、脳への入力で本を読んだり、話を聞いたりすることで、「武」とは脳が入力情報を総合的に出力する筋肉労働である。これらは相補完的な関係にある。
③ 「文」とは、脳への入力でいわゆる五感にあたり、「武」とは脳が外界に出力する筋肉の動きである。これらは両立共栄的な関係にある。
④ 「文」とは、脳への入力でいわゆる五感にあたり、「武」とは脳による出力で筋肉の動きにあたる。これらは得失相半的な関係にある。

問4 ____イに「普通の人々はそれに気づきません」とあるが、なぜ気づかないのか、簡潔に説明しなさい。

問5 （ B ）には同じ言葉が入ります。適切な言葉を考え、書き入れなさい。

問6 ____ウで筆者が言いたいことは何か、簡潔に説明しなさい。

問7 この文章によって筆者が言おうとしていることは何か、説明しなさい。

解答または解答例：

Answer Keys or Examples：

問題Ⅰ

問 1 ③

問 2 エティックに記述すれば＝全体的な見方から記述すれば、
イーミックに考えれば＝細部の個々の事例から考えれば、

問 3 ②

問 4 ①

問 5 例えば、「行かなきゃですね」という用法は、規範的な文法から見ると誤りだが、実際には用いられている。これらは個人の変異ということで分析対象とはされないが、言語というものはこのような変異があつてこそ、進化したものだと言える。

問 6 エティック

問 7 言語の分析には、全体的な見方と、個別的な見方があり、それをエティックとイーミックという用語で音声进行分析する例を通して説明している。その上で、構造主義ではどのように言語の分析を考えているかを説明している。

出題意図

構造主義言語学は、どの言語研究史でも取り扱われているが、詳しく知っている学生は少ない。その中で、エティックとイーミックという用語を軸に、その意味がどの程度、この文章を読むことで理解でき、全体の内容を読解できているかを見ている。

問題Ⅱ

問 1 ②学習

問 2 ②学問と武道・スポーツの両方に優れていること、両方に力を入れて励むこと。

問 3 ③「文」とは、脳への入力でいわゆる五感にあたり、「武」とは脳が外界に出力する筋肉の動きである。これらは両立共栄的な関係にある。

問 4 無意識下における筋肉の運動だから

問 5 筋肉

問 6 人工呼吸器で呼吸という身体機能だけを人工的に行わせることはできるが、脳による出力である筋肉を動かすことはできない。よって、声を出すことや手足を動かすということもできない

問 7 脳の入力（身体的な体験を五感を研ぎ澄まし得ること）と出力（脳の入力を総合し話したり、行動したり、運動したりすること）という関係方程式を繰り返すことによって、私たち人間は本当の「学習」に至ることができる。

出題意図：留学生が大学院で、日本語・日本文化に係る研究を遂行していくために必要な日本語の語彙力、文脈類推力、読解力、要約力を確認するもの。

Intent of Questions：